

『ジョブ管理の課題を放置し、同じツールを使い続けることに潜むリスク』

■資料概要

ビジネスの基幹を支える、IT システムの「ジョブ」。

その運用を担う「ジョブ管理製品」は、システムの“要”と言えます。

IT 部門を取り巻く状況は、数年前と比べて変わったこともあれば、変わらないこともあります。それぞれに対応できていますか？

▼変わったこと

- ・ 新たなテクノロジーの登場
- ・ 期待される役割

▼変わらないこと

- ・ 安定稼働／効率化の実現
- ・ コスト最適化への取り組み

本資料では、ジョブ管理において発生する「課題」や、それを解決することで得られる「メリット」について、運用担当者や基盤担当者、マネージャーの視点で紐解きます。

アシストのお客様の声も凝縮しているため、ジョブ管理を客観的に見直せるだけでなく、自社の潜在的なリスクに気付くきっかけとしても、ご活用いただければ幸いです。

■目次

1. 改めて知る、ジョブ運用を取り巻く環境
2. 課題があっても、既存ツールを使い続ける「2 つ」の理由
3. ジョブ管理製品に必要な「8 つ」のポイント
4. 8 つのポイントを満たした時、関係者へもたらされるメリット
5. 8 つのポイントを満たすツールのご紹介

資料をダウンロード ▶

